

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 CL尾崎 SL千賀 池田 義間 前川 矢古宇 藤戸 松井 田中マ
受講生 川手 松本シ 水嶋

2. 山城／ルート 冬山教室 修了山行 八ヶ岳（標高 2760m）

3. 交通手段 自家用車

4. 行動記録

<入山日 2017年 2月4日 下山日 2月5日>

2月3日夜 神戸各地出発

2月4日 0830 美濃戸口集合 0900 出発→1000 美濃戸山荘→11 10 北沢→13 30 赤岳
鉱泉 テント設営

2月5日 0300 起床 05 20 分出発→0715 赤岩の頭→0520 硫黄岳登頂→0900 テン場着
→0940 テント撤収→1030 下山開始→1130 美濃戸小屋 →1300 下山

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通り

b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

特になし

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

教室山行後の反省会を実施

- ・装備の装着誤りや不備、事前準備不足は大きな事故に繋がることを意識して取り組む。
アイゼンやワカンなどを適確に素早く装着・地形図の準備し事前机上登山・防寒具の
適確使用、またテント設営・撤収時の注意点、風で飛ばされないように・ポールは雪
につけない、などの確認。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

頂上アタックの 2 日目は、早い段階で天候が崩れ強風の予報があったため、出発時間を早めた。また状況によっては森林限界の赤岩の頭付近まで、とじていたが、山頂まで充分間に合い、視界もあり八ヶ岳連邦がよく見渡せた。硫黄岳の火口も見る事が出来た。下山開始の頃になってみるみるガスが掛かりだし、テント撤収以降、下山まで降雪が続いた。

報告者氏名 尾崎 昇 2017年 2月 12日

